

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲・乙 第 3184 号	氏名	小池 佑果
論文審査担当者	主査 福原 潔 教授 副査 沼澤 聡 教授 副査 野部 浩司 教授		
論文題名 : Antithrombin effect of Jidabokuippo and identification of active compounds (治打撲一方の抗トロンビン効果と活性成分の同定) 掲載雑誌名 : Natural Product Communications Vol. 17 No. 1 P. 1-5 2022 年掲載			
<p>本研究は、「瘀血」の治療薬に使用される治打撲一方の抗トロンビン効果の検討および活性成分を明らかにしたものである。</p> <p>「瘀血」とは、漢方医学において独特の考え方であり、血液の流れが悪い状態を指し、その治療薬は駆瘀血薬と呼ばれる。駆瘀血薬の効果として血小板凝集抑制や血液凝固抑制などの作用を示す報告はあるものの、作用機序については不明であった。本研究は、血液凝固系に着目し、凝固時間を顕著に延長した治打撲一方をトロンビン活性試験により評価し、濃度依存的に抗トロンビン効果を示すことを明らかにした。更に、治打撲一方に含まれる活性成分を明らかにする為、抗トロンビン活性を指標にエキスの分離を行い、エーテル画分より活性成分としてアントラキノン骨格を有する配糖体 chrysophanol-1-O-β-D-glucoside、chrysophanol-8-O-β-D-glucoside を単離し同定した。</p> <p>本論文は、治打撲一方の駆瘀血作用が、トロンビン阻害による血液凝固抑制に関与しており、その活性発現にはアントラキノン配糖体が寄与していることを示唆した。また、未だ作用機序が不明確な漢方のエビデンスを構築したものであると考える。そして、駆瘀血薬の血液凝固系に対する影響の視点から、駆瘀血薬がトロンビン活性を抑制すること、およびその活性成分を初めて明らかにしたものである。</p> <p>本研究結果は、駆瘀血薬の作用機序の科学的解明に寄与するものと考えられる。本論文は本学大学院学位論文(博士)審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。</p>			

(主査が記載、500 字以内)